



Photostud

THE KYOTO SHIMBUN HAIR

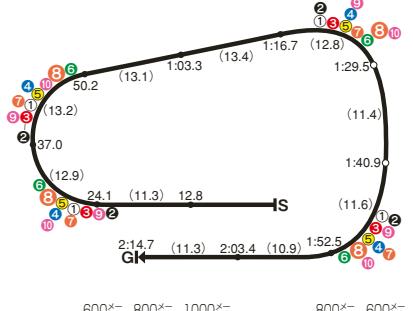
第73回 京都新聞杯 (GII)

1着	2着	3着	4着	5着
本賞 54,000,000円	22,000,000円	14,000,000円	8,100,000円	5,400,000円
付加賞 742,000円	212,000円	106,000円		



[レース映像は
コチラでご覧](#)

3歳、除未出走馬および未勝利馬 負担重量 馬齢重量



通過タイム : 600ドル 800ドル 1000ドル 上り : 800ドル 600ドル
37.0 - 50.2 - 1:03.3 45.2 - 33.8

アラカルト

- | 2025.5.10 京都 モン・稍重 芝2200m (国際 指定) | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|----|---------|-----|----|---------|--------|----------------------|--------------|-------------|-----------|----------|--------|
| 着順 | 馬番 | 馬名 | 性齢 | 斤量 | 騎手 | タイム | コーナー
通過順位
(着差) | 上り
(600m) | 馬体重
(増減) | 単勝
オッズ | 調教師 | レーティング |
| 1 | ⑧ | ショウヘイ | 牡 3 | 57 | 川田将雅 | 2:14.7 | 2-2-2-2 | 33.8 | 456(−2) | 10.7⑤ | 友道康夫(栗東) | 112 |
| 2 | ⑤ | エムズ | 牡 3 | 57 | 松山弘平 | 2½ | 3-4-5-4 | 33.8 | 442(−8) | 6.0③ | 池江泰寿(栗東) | 108 |
| 3 | ⑦ | デルアヴァー | 牡 3 | 57 | 荻野 楓 | % | 6-6-4-4 | 34.0 | 480(+4) | 14.4⑥ | 松永幹夫(栗東) | 107 |
| 4 | ⑨ | トップボーン | 牡 3 | 57 | 武 豊 | クビ | 9-8-5-7 | 33.8 | 468(±0) | 2.4① | 笛田和秀(栗東) | 107 |
| 5 | ④ | ネブラディスク | 牡 3 | 57 | A.ショタルケ | % | 3-4-5-4 | 34.1 | 434(±0) | 10.6④ | 福永祐一(栗東) | |
| 6 | ⑥ | ナグエルフル | 牡 3 | 57 | 浜中 俊 | 1¼ | 1-1-2-1 | 34.6 | 506(+2) | 17.3⑦ | 杉山謙紀(栗東) | |
| 7 | ② | コエチャラペラ | 牡 3 | 57 | 北村友一 | % | 10-10-9-9 | 33.9 | 432(−2) | 21.7⑧ | 安田翔伍(栗東) | |
| 8 | ③ | ロットプラータ | 牡 3 | 57 | 和田竜二 | 1 | 8-8-8-7 | 34.3 | 526(+4) | 63.4⑨ | 平田 修(栗東) | |
| 9 | ① | キングスコール | 牡 3 | 57 | 坂井壘星 | クビ | 6-6-9-9 | 34.2 | 498(−4) | 3.4② | 矢作芳介(栗東) | |
| 10 | ⑩ | オーシンエス | 牡 3 | 57 | 高橋史郎 | % | 1-3-3-1-2 | 35.1 | 466(+4) | 21.8⑩ | 宮原(栗東) | |

単勝⑧,1,070円(5人)* 複勝⑧310円(5人)* ⑤230円(3人)* ⑦340円(6人)* 枠連⑤-⑦,1,600円(7人)*
 馬連③-⑧,2,910円(14人)* ブイ④-⑧,980円(13人)* ⑦-⑧,1,550円(21人)* ⑦-⑧,1,030円(15人)*
 馬單③-⑥,560円(27人)* 3連複⑥-⑦-⑨,9,580円(37人)* 3連單⑥-⑦-⑨,49,620円(184人)*

- ・川田将雅騎手はサトノグランツで制した23年に続く京都新聞杯4勝目。JRA重賞は本年3勝目、通算145勝目
 - ・友道康夫調教師はサトノグランツで制した23年に続く京都新聞杯3勝目。JRA重賞は本年3勝目、通算74勝目
 - ・川田将雅騎手＆友道康夫調教師コンビによる本競走勝利は21年レッドジェネシス、23年サトノグランツに続く3勝目。これは伊藤清章元騎手＆伊藤修司元調教師コンビの3勝(82年ハギノカムイオー、84年ニシノライデン、86年タケノコマヨシ)に並ぶ同一騎手＆調教師コンビによる最多勝利タイ記録
 - ・サートウルナーリア産駒はJRA重賞通算2勝目

• 1999 年 6 月 1 日 貨幣政策報告

ショウヘイ *Shohei*

牡 黒鹿毛 2022.3.15生

北海道安平町 ノーザンファーム生産
馬主・石川達絵氏 栗東・友道康夫厩舎
馬名意味・人名より

ミュージカルウェイFR系 F2-s		
サートゥルナーリア 黒鹿毛 2016	ロードカナロア 鹿毛 2008	キングカメハメハ レディブラッサム
	シーザリオ 青毛 2002	スペシャルウィーク キロフリミエールGB
オーロトラジエ 栗毛 2016	オルフェーヴル 栗毛 2008	ステイゴールド オリエンタルアート
	ミュージカルウェイFR 栗毛 2002	Gold Away Mulika

5代までのインブリード: サンデーサイレンスUSA S4×M4 Mr.Prospector S5×M5

INTERVIEW

木村浩崇厩舎長(ノーザンファーム早来)

調子が上向きと聞いて期待していました

馬名が話題になり始めた頃から、調教の動きが良くなっていました。きさらぎ賞は思ったようなレースにはならなかつたものの、京都新聞杯はその時よりも調子が上向きと聞いていたので期待していました。ダービーはさらにいい状態で迎えられると思います。ダービーでの馬番が大谷翔平選手の背番号と同じ「7番」になったら、さらに注目されそうですね。



S.Naka

好位追走から悠々と抜け出した末勝利戦の勝ちっぷりを高く評価され、きさらぎ賞では2番人気の支持を集めた本馬だが、万全の体調になかつたのか精彩を欠き、サトノシャイニングに6馬身余りの着差をつけられて4着に敗れた。それでも間隔を空け、じっくりと態勢を立て直されて臨んだこの日は鮮やかに変身。自在に立ち回れるレースセンスの高さもアピールし、ダービーの新星に急浮上した。

父サートゥルナーリア

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央10戦6勝(皐月賞G1、ホープフルS G1、神戸新聞杯G2、金鯱賞G2、有馬記念G1 2着)、最優秀3歳牡馬、21年から供用
〔代表産駒〕**ショウヘイ**(本馬)、**ファンタム**(毎日杯G3)、**コートアリサン**(新潟2歳S G3 2着、ニュージーランドトロフィーG2 3着)、**レッドキンギー**(東京スポーツ杯2歳S G3 3着)、**クラウディアイ**(京都2歳S G3 3着)、**エストゥペンド**(クイーンC G3 3着)、**アルメントフーベル**(アネモネS・L3着)

母オーロトラジエ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央5戦0勝、地方2戦0勝

シエルサンリミット(21 牡父ブリックスアンドモルタルUSA)

ショウヘイ 本馬(22 牡父サートゥルナーリア)中央4戦2勝(京都新聞杯G2)

獲得総賞金69,342,000円

ノンブルドール(23 牡父レイデオロ)

(24 牡父サリオス)

(25 不受胎)

祖母ミュージカルウェイFR

仮、伊、香、愛、星8勝(ドーラ賞・仮G2、ラクーブドメゾンラフィット・仮G2 2回、ブローニュ賞・仮J1、リディアテシオ賞・伊G1 3着2回、香港C G1 3着、コリーダ賞・仮G2 3着)、09年輸入、22年死亡

インナーアージ(10 牡父ディープインパクト)中央4勝(サンシャインS)、**レイディヴェーラ** (現)(エリザベス女王杯G1、アイルランドトロフィー府中牝馬S G2、ローズS G2 2着)、エルバリオ(麦秋S、四日市特別)の母
トーセンマタコイヤ(11 牡父ディープインパクト)中央5勝(ウェルカムS、オリエンタル賞、精進湖特別、山吹賞)、地方0勝

ミッキークイーン(12 牡父ディープインパクト)中央5勝(オークスG1、秋華賞G1、阪神牝馬S G2)、忘れな草賞O、ヴィクトリアマイルG1 2着、阪神牝馬S G2 2着、ローズS G2 2着、クイーンC G3 2着、宝塚記念G1 3着、エリザベス女王杯G1 3着(2回)、最優秀3歳牝馬、**ミッキーゴージャス** (現)(愛知杯G3)、ミッキーマドンナ (現)(芙蓉S O 3着)の母

ルールブリタニア(13 牡父ディープインパクト)中央1勝、**エビファニー** (現)(小倉大賞典G3、ケフェウスS O、中京記念G3 2着)の母
オーロトラジエ(16 前出)

リズムオブラヴ(17 牡父ディープインパクト)中央1勝

ザレストノーウェア(18 牡父ディープインパクト)中央0勝、障害1勝

ニュージーズ(21 牡父リアルスティール)中央3勝 (現)

無傷の2歳王者クロフデュノールが
皐月賞で初めて敗れ、一強の勢力団が
崩れたダービーに名乗りをあげるのは
どの馬か。「東上最終便」とも呼ばれる
関西の前哨戦・京都新聞杯は、未勝
利戦を3馬身差、1勝クラス戦を4馬
身差で連勝中のトッピボーンが断然の
支持を集め、皐月賞(7着)から転戦し
てきたスプリングSの3着馬キングス
コールが対抗候補、2戦2勝のエムズ
が2頭続く存在と目された。とはい
え勝利を飾ったのは5番人気のショウ
ヘイ。キャリア3戦の1勝馬が2度目
の重賞挑戦で一皮剥けた強さを示し、
事実上の出走権を手中に収めた。

前日に降った雨の影響が残り、少し
が2頭続く存在と目された。とはい
え勝利を飾ったのは5番人気のショウ
ヘイ。キャリア3戦の1勝馬が2度目
の重賞挑戦で一皮剥けた強さを示し、
事実上の出走権を手中に収めた。

渋った馬場(稍重)を舞い戻し争われたレ
ースを先導したのはナグelfアル。互
角の勢いで飛び出したショウヘイの川
田将雅騎手はこれを先に遣り、2番手
に腰を落ち着ける。エムズはその後、
3、4番手のインに收まり、本来の行
きっぷりを失いたキンギスコールは後
方の内を追走。序盤から折り合いに苦
しことトッピボーンも後方2番手で未
脚勝負に構えた。

前半1000mの通過が63秒3。馬
場状態を割り引いてもレースは遅い流
れで進んだが、坂の頂上付近でオーシ
ンエスが前の2頭に並びかけ、残り8
00m地点から急激にペースが上がる。
それでもリズムを崩さず、楽な手応え
を保つて坂を下った川田騎手は、直線
入口で外へ持ち出してスパート。10秒
台のラップを刻み、一気に抜け出した
ショウヘイが、内ラチ沿いを突いて追
い込んだエムズ以下の反撃も寄せ付け
ずに勝利を手にした。

鮮やかに変身しダービーへの道を拓く